

第96期 報告書

2019・04・01 → 2020・03・31

株式会社 よみうりランド
証券コード9671



新感覚フラワーパーク

HANA BIYORI

3月23日(月)オープン



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

はじめに、6月18日開催の第96回定時株主総会後の取締役会におきまして、杉山美邦前社長の後任として、代表取締役社長に溝口烈が就任したことをご報告いたします。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

さて、当社グループ第96期（2019年4月1日～2020年3月31日）の事業の概要を取りまとめましたので、ここに本報告書をお届け申しあげます。

2020年6月



代表取締役社長

溝口 烈

営業の概況

事業の経過及びその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦により輸出が伸び悩む中、消費増税の影響で一般機械や自動車などの製造業の業績が低下した一方、ソフトウェア投資の拡大を背景に情報サービスなどの非製造業は堅調に推移しました。当社グループの関連する業界に影響を及ぼす個人消費については、改元に伴い10連休となったゴールデンウィークや消費増税前の駆け込み需要の押し上げ効果があったものの、長梅雨や台風の影響により低迷しました。さらに2020年2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大が国内の経済活動全般に深刻な打撃を与えており、先行きが不透明な状況にあります。

このような状況の下、2019年9月に創業70周年を迎えた当社グループは、2019年2月に策定した成長戦略「飛躍」（2019～28年度）に基づき、遊園地、公営競技の施設提供、ゴルフ場の3大事業のさらなる発展に向け、既存事業の一層の充実や成長戦略に繋がる設備投資に積極的に取り組んでまいりました。また、新ブランドスローガン「遊びを、まん中に。」の対外的発信の強化や各事業所での70周年記念イベントの開催により、さらなる企業認知度向上に努めてまいりました。

遊園地では、冬の風物詩となったイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」が10周年を迎え、過去最多の650万球を使用して全エリアをリニューアルしたほか、10週連続で約800発の花火とコラボレーションした豪華絢爛な噴水ショーを開催し、多くのお客様で賑わいました。3月には、成長戦略「飛躍」のスーパー遊園地構想の第一弾として、遊園地に隣接する日本庭園に新感覚フラワーパーク「HANA・BIYORI」をオープンしました。約17,000本の季節の花々や関東最大級となる300鉢を超えるフラワーシャンデリア（吊り花）、常設では日本初となる花とデジタルが融合したアートショーなど、エンタメ要素を多数盛り込んだ新たな植物園として展開していきます。

夏のプールWAIは、梅雨明けの遅れの影響があったものの、8月は過去最多の入場者数を記録しました。

川崎競馬及び船橋競馬は、引き続き地域と連携して来場促進イベントを開催したほか、業界が推進する強い馬作

りに向けて、小向厩舎管理棟新築（川崎）や調教用多目的馬場新設（船橋）などの設備投資を積極的に実施しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で3月の本場開催が無観客開催となったものの、好調なインターネット投票に支えられ、年間の勝馬投票券の購入額に相当する売上高は、それぞれ前年度に記録した過去最高額を更新しました。

これらの結果、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月下旬から3月末までの大半で遊園地やキッズ施設の営業を休止したものの、当連結会計年度における売上高は222億3,800万円（前年度比1.3%増）となりました。営業利益は、整備費や減価償却費などの増加に伴い、31億2,200万円（同4.3%減）、経常利益は、33億7,200万円（同4.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、21億1,800万円（同9.4%減）となりました。

対処すべき課題

今後のわが国経済は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大が2020年度に入っても終息の兆しが見えず、混乱が続くことが懸念されます。当社も遊園地、温浴施設、キッズ施設の臨時休業、公営競技の無観客開催、ゴルフ場の予約キャンセル及び臨時休業など、2019年度から2020年度にかけて業績に大きな影響が出ています。

このような状況の下、当社グループは全社員が危機感を共有し、それぞれの事業の回復に向けて、創意工夫を凝らした営業活動を強力に進めてまいります。また、引き続き2019年2月に策定した、今後10年にわたる新たな経営の道標となる成長戦略「飛躍」（2019～28年度）に基づき、遊園地、公営競技の施設提供、ゴルフ場の三事業を基幹ビジネスとして発展させながら、新規事業にも積極的に取り組んでまいります。

2020年度は3か年の中期経営計画（2019年度から2021年度まで）の2年目となります。中期計画最終年度（2021年度）に連結で売上高256億円、営業利益34億円の目標を達成するには、新規事業を含めて以下の計画事業を順調に稼働させることが前提となります。

遊園地部門では、2020年3月オープンの新感覚フラワーパーク「HANA・BIYORI」及びリニューアルした屋内遊戯施設「グッジョバ!!!」の安定的な集客を目指します。遊園地は日本最大の人口を抱える都心に近い立地を生かしながら、独自の集客イベントを展開するほか、夏のプール、秋以降のジュエルミネーションでの集客増に努めます。また、引き続き訪日外国人の集客も強化します。2021年春には「グッジョバ!!!」に新アトラクションゾーン「SPACE factory」をオープンします。

健康関連事業では、新規受託による温浴施設を2020年秋にオープンします。

公営競技部門の川崎競馬場では、業界の推進する強い馬づくりに向けて、小向厩舎の調教用多目的馬場の新設や馬房の空調化などの環境改善に取り組みます。船橋競馬場は、大規模施設改修事業の取り掛かりとして、既存スタンドを解体し、新スタンド建設工事に着手します。

ゴルフ部門のよみうりゴルフ倶楽部では、法人平日会員の新規募集を行います。千葉よみうりカントリークラブでは、前年の台風や記録的な集中豪雨で受けた被害の復旧工事を進めます。

当社は、遊園地、公営競技施設、ゴルフ場等を所有し、その運営・賃貸を行う国内でも特色のある総合レジャー・サービス事業会社として、永年にわたり培ってきたノウハウと、ブランドイメージに裏打ちされた様々な経営資源を活用し、更に新しい形態のサービスを模索していきます。また、新型コロナウイルス感染防止対策も含め、安全面に万全の配慮をしつつ、コスト削減と業務の効率化を徹底します。同時に、業界全体の動き、社会情勢の変化に目を配り、周囲からの情報にも耳を傾け、お客様に最高の喜びを感じていただけるよう全力で取り組んでまいります。

なお、成長戦略「飛躍」及び「中期経営計画」の詳細は、当社ウェブサイト（<https://yomiuriland.co.jp>）をご参照ください。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

総合レジャー事業 売上高
20,573 百万円

総合レジャー事業全体の売上高は、その他の収入も含め、205億7,300万円（前年度比2.0%増）、営業利益は41億4,600万円（同0.1%減）となりました。

遊園地は、冬の風物詩となった世界的照明デザイナー石井幹子氏プロデュースのイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」を、初めて年度をまたいで開催しました。春休みは「夜桜ジュエルミネーション」、10連休となったゴールデンウィークは「新緑ジュエルミネーション」と題し、多くのお客様で賑わいました。新元号が発表された4月には、名前に新日の元号の漢字が入った方を入園無料にする「新元号キャンペーン」、ゴールデンウィークには「全国ご当地&肉グルメ祭」や「超お笑いLIVE 10連発」など話題性のあるイベントを開催し、多数のパブリシティの獲得につながりました。6月には恒例のほたる観賞イベント「ほたる・ねぶたの宵」を開催し、幻想的なほたるの光とともに勇壮華麗な青森ねぶたの灯りをお楽しみいただきました。さらに夏は、ものづくりが体感できる「グッジョバ!!!」エリアにおいて、水を掛け合う参加型イベント「ビッジョバ!!!」の開催や、お子様向け水遊び場「チビッジョバ!!!」を新設したほか、8種のものづくりが体感できる「夏休みワークショップセレクション」などを開催し、親子三世代で楽しめる空間としての魅力向上に努めました。秋には、日本テレビのお天気キャラクターとのコラボレーションイベント「そらフェス in よみうりランド」や、創業日を入園無料などにした「創業70周年ありがとうキャンペーン」、「よみうりランドハロウィン〜クレイジーホラーナイト」などを開催し、好評を博しました。

10月下旬からは、10年目を迎えた「ジュエルミネーション」の新シーズンが開幕しました。ギリシャ神話をテーマに、過去最多の650万球のイルミネーションで彩られた幻想的な12の新エリアが登場。最高神ゼウスの宮廷をイメージした高さ25mの光の山「オリンポス・サミット」や、レーザーと炎の演出を追加した毎年大好評の噴水ショーがお客様を魅了しました。3月には遊園地に隣接した日本庭園に新感覚フラワーパーク「HANA・BIYORI」をオープンしました。屋外エリアでは、約17,000本の季節の花に囲まれて散策がお楽しみいただけるほか、温室内では、関東最大級となる300鉢を超えるフラワーシャンデリアや日本で初めて常設となる花とデジタルが融合したアートショーで幻想的な世界を表現しています。

以上のように季節ごとに様々なイベントを展開し集客を図りましたが、長梅雨の影響や休日に悪天候が多かったこと、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月下旬から3月末までの大半で遊園地が臨時休園となったことなどにより、年間を通じた入園者数は減少しました。

夏のプールWAIは、恒例のダンス放水ショー「ダンスブラッシュ!!!」やスタッフによるシンクロショーに加え、マスコットキャラクター「グッド」のフィギュアを使った新企画「ぶかぶかグッドくんレース」が好評を博し、連日賑わいをみせました。7月中旬からは、前年より規模及び期間を拡大してナイトプール営業をおこない、幅広い時間帯でお客様にお越しいただき、8月は過去最多の入場者数を記録しました。しかしながら、前年に比べ梅雨明けが1か月遅れたことなどが影響し、期間を通じた入場者数は減少しました。

ゴルフ練習場「よみうりゴルフガーデン」は、丘の湯周辺や季乃彩、SNSでの宣伝強化に加え、夏季の閑散期対策として朝7時からの早朝営業などを実施し、集客に努めました。さらにターゲットグリーンのカップ新設やロビーなどの環境改善をおこなった結果、遊園地の渋滞緩和を目的とした臨時休場日の増加や10月の台風の影響があったものの、入場者数は前年並みとなりました。

温浴施設「丘の湯」は、桜の開花期間が長く続いたことや「ゴールデンウィークスタンプラリー」の開催、広島や福島、岐阜をテーマにしたご当地フェアが集客に寄与しました。しかしながら、遊園地からの集客が低調だったことや10月の台風、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、入場者数は減少しました。丘の湯プラザの中華レストラン「天安」は、恒例のほたる観賞イベントに関連したディナーイベントを初めてオーダーバイキング形式で実施し、好評を博しました。



遊園地「ジュエルミネーション（オリンポス・サミット）」



夏のプールWAI「ナイトプール」

温浴施設「季乃彩（ときのいろどり）」は、檜風呂に季節の花やフルーツを浮かべる「彩湯（いろどりゆ）」が引き続き好評で、さらに積極的な広告展開や近隣宿泊施設への営業などにより集客に努めました。しかしながら、10月の台風や新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、入場者数は減少しました。

親子向け屋内遊戯施設「キドキドよみうりランド店」は、改元を記念した手形イベントを開催したほか、遊園地と連携して園内やゴンドラでの宣伝を強化しました。

商業施設「グランツリー武蔵小杉」内の「あそびのせかいグランツリー武蔵小杉店」は、季節ごとのファミリー向けイベントや5月にテレビで放映されたことが反響を呼びました。

商業施設「プライムツリー赤池」内の「あそびのせかいプライムツリー赤池店」は、夏向けの人気商品の体験イベントなどを開催しました。しかしながら3店舗とも、10月の台風及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月下旬から3月末までの大半で臨時休業となったことなどにより、入場者数は減少しました。

以上の結果、遊園地部門の売上高は、51億9,900万円（前年度比13.9%減）となりました。

川崎競馬は、前年度比1日増となる64日開催されました。6月の重賞「関東オークス」や1月のビッグレース「川崎記念」は、それぞれ前年に記録した勝馬投票券の購入額に相当する売上高（以下、売上高）の過去最高額を更新するなど盛り上がりを見せました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月は無観客での開催となったものの、インターネット投票が好調に推移し、年間総売上高は3年連続で過去最高額を更新しました。イベント面では、5月に「100円ビールフェス」、7月に野外映画上映会「ねぶくろシネマ」、11月末に「かわさきパンマルシェ」などを開催し、川崎競馬のさらなる魅力向上に努めました。12月19日には、当日の11レースを当社関連施設にちなんだ冠名にして開催し、創業70周年のPRをおこないました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止策として2月末より場外発売が中止となったため、南関東の他場（船橋・大井・浦和）開催の場外発売は前年度比13日減となる187日の実施、JRAの場外発売施設「ウインズ川崎」は、前年度比12日減となる95日の実施となりました。

船橋競馬は、前年度比3日増となる59日開催されました。5月開催は、6年振りにゴールデンウィークから外れた日程となったものの、インターネット投票の伸長により、ビッグレース「かしわ記念」は売上高の過去最高額を更新し、1日及び1開催の総レース売上高においても過去最高額を更新しました。年間総売上高は、川崎競馬同様3年連続で過去最高額を更新しました。また、近隣商業施設共催の「おうまフェス」の拡大開催や入場門のリニューアル、ビギナーズカウンターを備えた「ハートビートセンター」の設置で、船橋競馬の魅力向上及びサービス向上を図りました。

なお、川崎競馬同様2月末より場外発売が中止となったため、南関東の他場（川崎・大井・浦和）開催の場外発売は前年度比13日減となる194日の実施、JRAの場外発売施設「J-PLACE船橋」は、前年度比7日減となる45日の実施となりました。

複合型場外発売施設「サテライト船橋・オートレース船橋」での発売は、新型コロナウイルス感染拡大防止策として2月末より営業中止となったため、サテライト船橋が前年度比35日減となる328日の実施、オートレース船橋が前年度比30日減となる323日の実施となりました。10日連続イベントや人気オートレース選手のトークショーを実施し、ファンサービスの向上に努めました。また、沿線車両内に広告を掲出し、さらなる認知度向上を図りました。

以上の結果、公営競技部門の売上高は、80億3,100万円（前年度比23.1%増）となりました。



川崎競馬場「ねぶくろシネマ」



船橋競馬場「かしわ記念」

東京よみうりカントリークラブは、2017年7月に導入した乗用カート効果により、引き続き予約は好調に推移するなか、会員の親睦を目的とした「よみうりプロアマ」や「ファミリーダブルスクランブル大会」、創業70周年を記念した自主コンペなどを開催し、さらなる集客を図りました。12月に開催された「ゴルフ日本シリーズ」Tカップ」は、人気選手がプレーオフの末に優勝を飾り、大変盛り上がりました。施設面では、老朽化が進んでいたクラブハウス男性トイレを全面改修し、顧客満足度向上を図りました。これらの結果、10月の台風や新型コロナウイルスの影響などがあったものの、暖冬にも恵まれ、入場者数は高水準であった前年並みとなりました。

よみうりゴルフ倶楽部は、年間を通じて他場と差別化を図った自主コンペを開催したほか、外部営業を強化し集客に努めました。その結果、2月までの入場者数は前年を上回るペースで推移しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、法人の接待利用及び個人利用の自粛によるキャンセルが相次ぎ、年間を通じた入場者数は減少しました。なお、今年度も遊園地のほたる観賞イベントやジュエルミネーションと連携したディナーイベントをクラブハウスレストランで開催し、好評を博しました。

静岡よみうりカントリークラブは、食をテーマにしたオープンコンペや女性をターゲットにした「レディスゴルフフェスタ」、「ポイント2倍レディスデー」などを実施し、集客に努めました。その結果、10月以降の台風や天候不順、新型コロナウイルス感染拡大の影響などがあったものの、入場者数は前年並みとなりました。

千葉よみうりカントリークラブは、ゴールデンウィークに実施した特別料金営業や来場御礼優待券の配布が好評を博したほか、P G S 競技の誘致が集客を後押ししました。しかしながら、記録的な暴風雨となった9月の台風や10月の集中豪雨により、延べ11日間のクローズが発生したことや、新型コロナウイルス感染拡大の影響でキャンセルが相次ぎ、入場者数は減少しました。

以上の結果、ゴルフ部門の売上高は、29億3,600万円（前年度比1.9%減）となりました。



東京よみうりカントリークラブ「ゴルフ日本シリーズ」Tカップ

不動産事業

売上高
1,181 百万円

不動産事業の売上高は、11億8,100万円（前年度比0.1%減）、営業利益は7億9,500万円（同6.1%増）となりました。

サポートサービス事業

売上高
5,859 百万円

当社の完全子会社であるよみうりサポートアンドサービスのサポートサービス事業の売上高は、連結内部工事の増加などに伴い、58億5,900万円（前年度比58.5%増）、営業利益は2億7,400万円（同17.2%増）となりました。

ものづくりが体感できるエリア「グッジョバ!!」がリニューアル

2016年3月にオープンした、日本最大のものづくりが体感できる遊園地エリア「グッジョバ!!」が5年目を迎え、プロジェクトマッピングやVRなどの最先端技術を駆使して大幅に進化しました。

「CAR factory

車の部品を取り付け、試験走行が楽しめる「カスタムガレージ」にVRを導入。タイムマシンで過去や未来の空間にワープしてテスト走行を行います。



「FOOD factory

「日清焼きそばU.F.O.」になれる映像ゲーム機能付きボートライド「スプラッシュU.F.O.」にお客様が水を発射するやかんポイント、没入感を高めるミストスクリーンなど、演出を150%拡張しドタバタ度がUP!



「FASHION factory

洋服づくりの工程を知ることができる屋内型ジェットコースター「スピンランウェイ」に、プロジェクトマッピングによるイマーシブ（没入感）演出を導入。コースはもちろん、アトラクション乗車前の待ち列でも演出が楽しめます。



「BUNGU factory

キャンパスノートの製造工程をモチーフにしたゲームが楽しめる「キャンパスチャレンジ」に、好成績を残した方だけが楽しめるエクストラステージが登場。映像と音楽に合わせて自由にパフォーマンスできるSNS映え間違いなしの体感型ステージです。



グッジョバ!! 新エリア「SPACE factory」2021年 春オープン(予定)



※画像はイメージです。

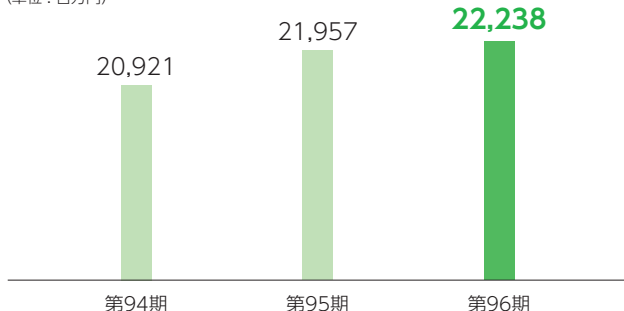
大正製薬株式会社とコラボレーションし、日本中に元気を届ける「リポビタンD」をテーマにした新factoryが誕生します。「リポビタンD」が応援する宇宙を舞台に、メインアトラクションとなる屋内コースターでは「リポビタンD」の製造工程と宇宙旅行が楽しみながら学べます。

「SPACE factory」概要

- パートナー企業：大正製薬株式会社
 - 面積：約4,000㎡
 - 総工費：約50億円
- 各アトラクションの詳細は、決定次第公式サイト等でお知らせいたします。

■ 売上高 **22,238** 百万円

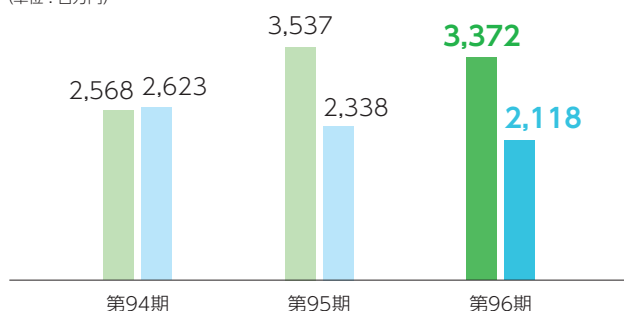
(単位：百万円)



■ 経常利益 **3,372** 百万円

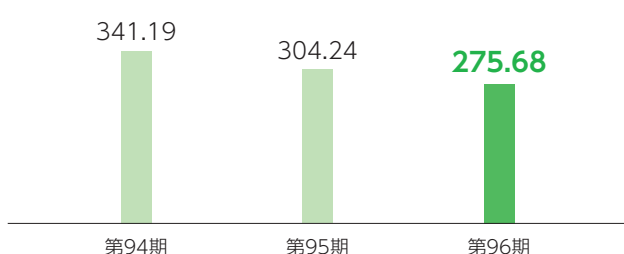
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 **2,118** 百万円

(単位：百万円)



■ 1株当たり当期純利益 **275.68** 円

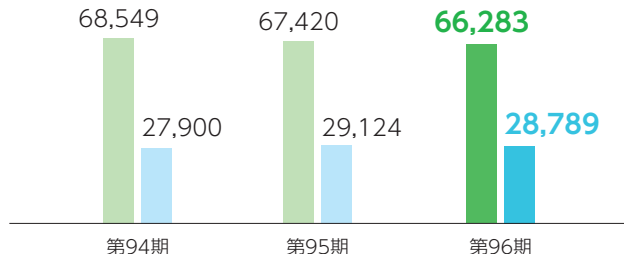
(単位：円)



■ 総資産 **66,283** 百万円

■ 純資産 **28,789** 百万円

(単位：百万円)



(注) 当社は2017年10月1日付で普通株式10株を1株にする株式併合を実施しております。第94期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号2018年2月16日）等を第95期の期首から適用しており、第94期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当連結会計年度末 2020年3月31日現在	前連結会計年度末 2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	6,567	8,575
固定資産	59,715	58,845
有形固定資産	50,855	47,158
無形固定資産	221	70
投資その他の資産	8,639	11,616
資産合計	66,283	67,420
負債の部		
流動負債	9,398	6,636
固定負債	28,095	31,659
負債合計	37,493	38,295
純資産の部		
株主資本	27,327	25,595
資本金	6,053	6,053
資本剰余金	4,730	4,730
利益剰余金	18,832	17,097
自己株式	△2,288	△2,285
その他の包括利益累計額	1,462	3,529
その他有価証券評価差額金	1,463	3,531
繰延ヘッジ損益	△1	△2
純資産合計	28,789	29,124
負債純資産合計	66,283	67,420

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	前連結会計年度 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)
売上高	22,238	21,957
売上原価	16,960	16,682
売上総利益	5,278	5,275
販売費及び一般管理費	2,155	2,011
営業利益	3,122	3,263
営業外収益	283	314
営業外費用	33	40
経常利益	3,372	3,537
特別利益	0	85
特別損失	280	271
税金等調整前当期純利益	3,092	3,352
法人税、住民税及び事業税	1,247	1,084
法人税等調整額	△273	△70
法人税等合計	973	1,013
当期純利益	2,118	2,338
親会社株主に帰属する当期純利益	2,118	2,338

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	前連結会計年度 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,067	4,918
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,750	△2,429
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,382	△2,577
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,064	△87
現金及び現金同等物の期首残高	5,513	5,601
現金及び現金同等物の期末残高	2,448	5,513

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要 (2020年3月31日現在)

商号 株式会社よみうりランド
 (英文: YOMIURI LAND CO., LTD.)
 本店所在地 東京都稲城市矢野口4015番地1
 設立 1949年9月24日
 資本金 6,053,030,806円
 企業集団の主要な事業内容 総合レジャー事業
 公営競技部門…競馬、オートレース及び競輪の競技場等の施設運営
 ゴルフ部門…ゴルフ場の経営
 遊園地部門…遊園地、植物園、ゴルフ練習場、温浴施設、親子向け屋内遊戯施設等の経営
 販売部門…食堂、売店の経営
 不動産事業
 不動産の売買、賃貸
 サポートサービス事業
 建設業、ゴルフ場管理、ビル管理等

当社の従業員の状況 (2020年3月31日現在)

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
147名	9名	43歳7ヶ月	15年10ヶ月

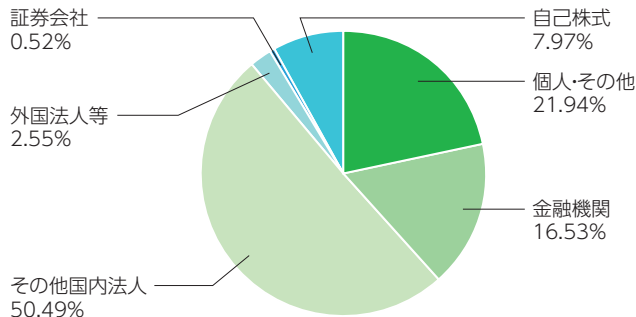
(注) 従業員数は就業人員 (契約社員を除く) であります。

役員 (2020年6月18日現在)

代表取締役社長	溝口	烈博
常務取締役	中村	博
常務取締役	小林	道高
常務取締役	越村	好晃
常務取締役	菊池	剛太
取締役	斎藤	孝光
取締役	町田	茂樹
取締役	杉山	美邦
取締役	加藤	寿一
取締役	山口	彰敏
取締役	村岡	由紀
常勤監査役	塚田	信幸
監査役	児玉	治重
監査役	岡田	明重

発行可能株式総数…………… 29,419,600株
 発行済株式総数…………… 7,686,079株
 (自己株式666,123株を除く)
 当期末株主数…………… 10,434名

所有者別株主比率



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社読売新聞グループ本社	1,250	16.27
日本テレビ放送網株式会社	1,124	14.62
株式会社東京ドーム	582	7.57
三井住友信託銀行株式会社	382	4.97
大成建設株式会社	285	3.71
京王電鉄株式会社	234	3.05
株式会社読売巨人軍	201	2.62
株式会社横浜銀行	163	2.12
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託)	132	1.72
オリンピック興業株式会社	127	1.66

(注) 1. 上記以外に当社所有の自己株式666千株があります。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

当社では、権利確定日に株主名簿に記録されている株主様を対象として、株主ご優待を実施しております。

権利確定日	9月30日 (中間)	3月31日 (期末)
発行時期	12月	6月
有効期間	1～6月	7～12月

招待内容

株主ご招待券綴	株主入場パス
1冊の内容	各場共通パス
★遊園地入園 5枚	☆川崎競馬場
★のりものクーポン引換 1枚 <small>園内で[のりもの4回分]のクーポン券5枚とお引き換えいたします。</small>	☆船橋競馬場
★ゴンドラ乗車 2枚 (10回分)	
★プールWAI入場 5枚 (※期末発行分のみ)	

発行基準

ご所有株数	株主ご招待券綴	株主入場パス
100株以上	1冊	2枚
500株以上	2冊	3枚
1,000株以上	3冊	5枚
5,000株以上	4冊	5枚

※各招待券は休園日等ご利用いただけない日がございます。注意事項と併せて詳細につきましては、同封の「株主ご招待券贈呈のご案内」をご参照ください。

※プールWAI入場につきましては、期末発行分のみとなります。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、遊園地、プールWAIの営業（営業時間、株主ご招待券の取扱い等）が変更になる場合があります。ご利用にあたっては、遊園地の公式ホームページなどをご確認ください。

事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会の議決権	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日

株主名簿管理人及び

特別口座の口座管理機関

郵便物送付先

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告の方法

電子公告により行います。なお、以下のホームページアドレスにてご覧いただけます。

<https://www.yomiuriland.co.jp/ir>

ただし、事故その他、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する読売新聞に掲載して行います。

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

毎日がお花見日和！ 新感覚フラワーパーク「HANA ♡ BIYORI」オープン！

「HANA ♡ BIYORI」は、いろいろな角度から植物に焦点を当てた、新感覚のエンターテインメント型植物園です。園内には約17,000本の季節の花々が咲き誇り、約1,500㎡の温室内では関東最大級となる300鉢を超えるフラワーシャンドリアや、日本で初めて常設となる「花」と「デジタル」が融合したアートショーをお楽しみいただけます。



▲ 季節の花が約15,000本植えられた四季の庭

～ 概要 ～

営業時間：9時30分～17時

※季節により変動あり

入園料：大人(中学生以上)1,200円

小人(3歳～小学生)600円

総面積：約40,000㎡

所在地：東京都稲城市矢野口4015番地1(よみうりランド遊園地隣接)

アクセス：京王よみうりランド駅より徒歩約10分または無料シャトルバスあり(15分間隔)

駐車場：約400台(利用者は2時間まで無料)



▲ 植物園では日本初出店となるスターバックス



▲ 貴重な文化財が並ぶ日本庭園エリア



▲ 可愛いしぐさが人気のコツメカワコン

よみうりランド

遊びを、まん中に。

〒206-8566
東京都稲城市矢野口4015番地1 TEL 044-966-1131(総務部総務課)



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。